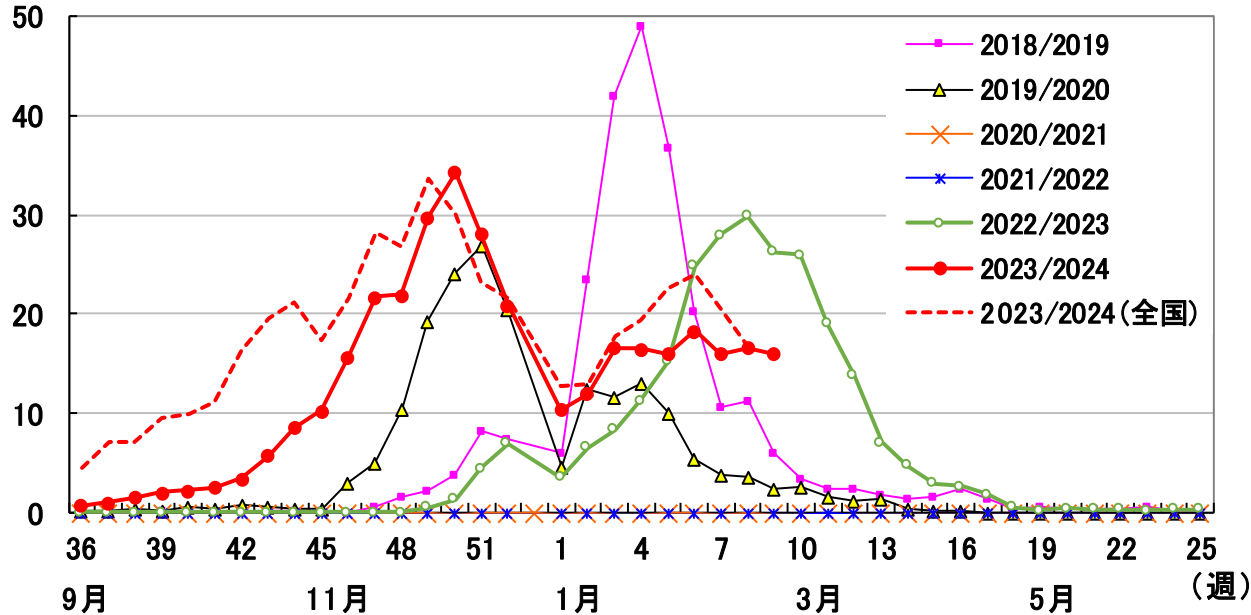


インフルエンザの発生状況(富山県)

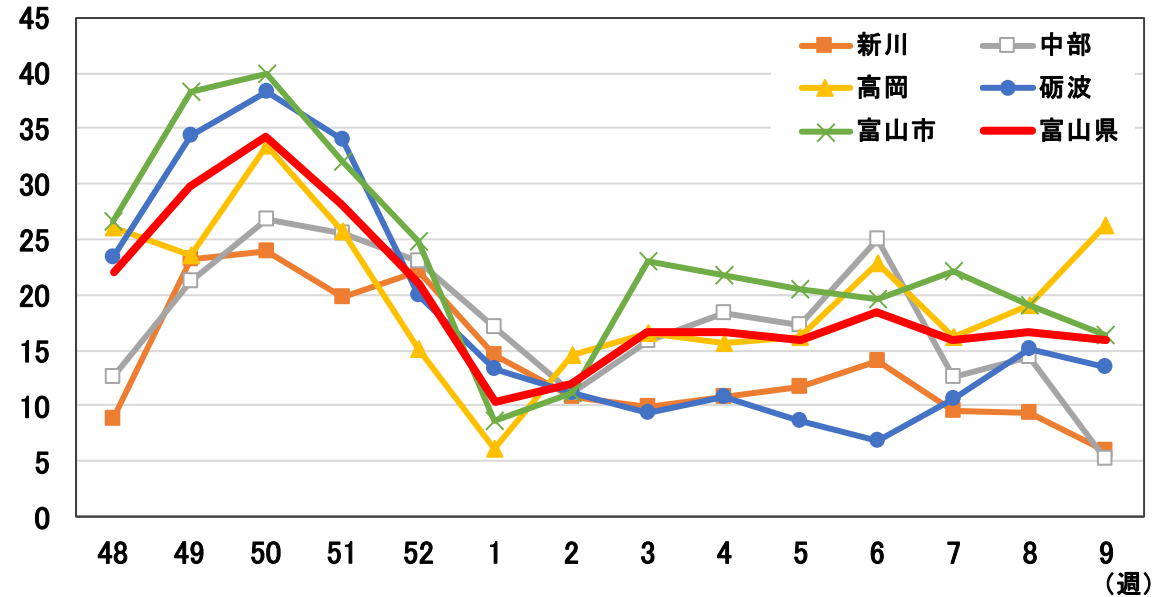
【第9週(2024/2/26~3/3) 感染症発生動向調査速報値 (2024/3/6時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第9週) 16.00人/定点となり、先週(16.58人/定点)から横ばいであった。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、高岡管内で先週から増加したほかは、先週から減少した。

図3. 年代別割合(富山県、第9週)

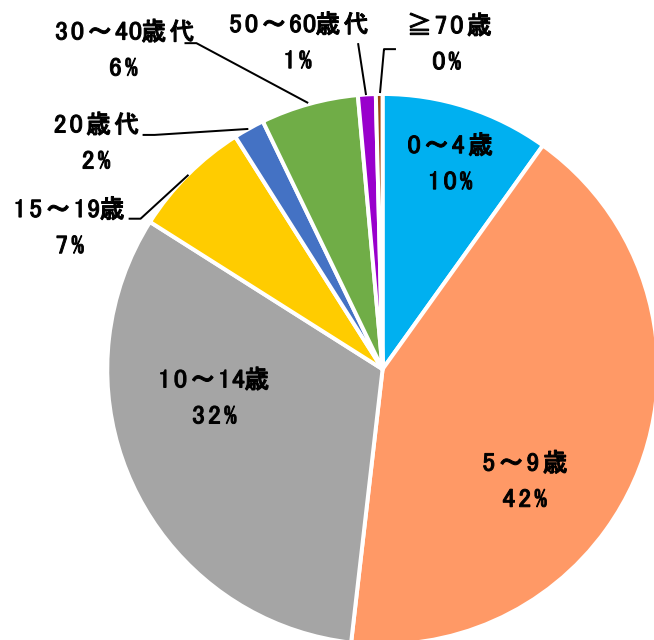
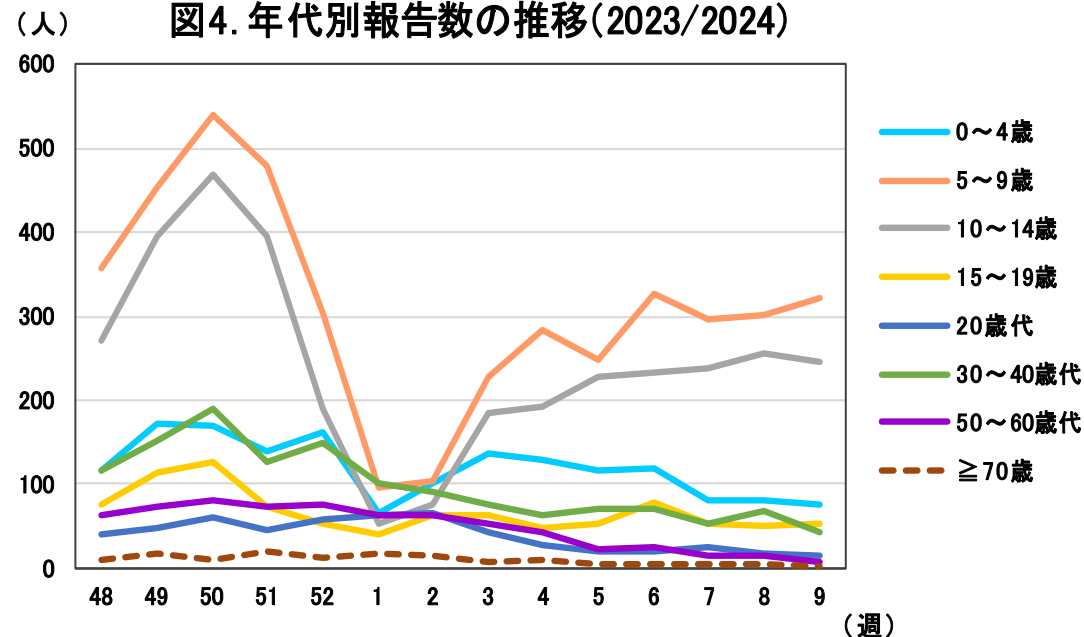


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第9週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が84%を占め、先週（80%）からやや増加した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代で先週と比べ概ね横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第9週に11件（小学校9件、中学校1件、高等学校1件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第8週)

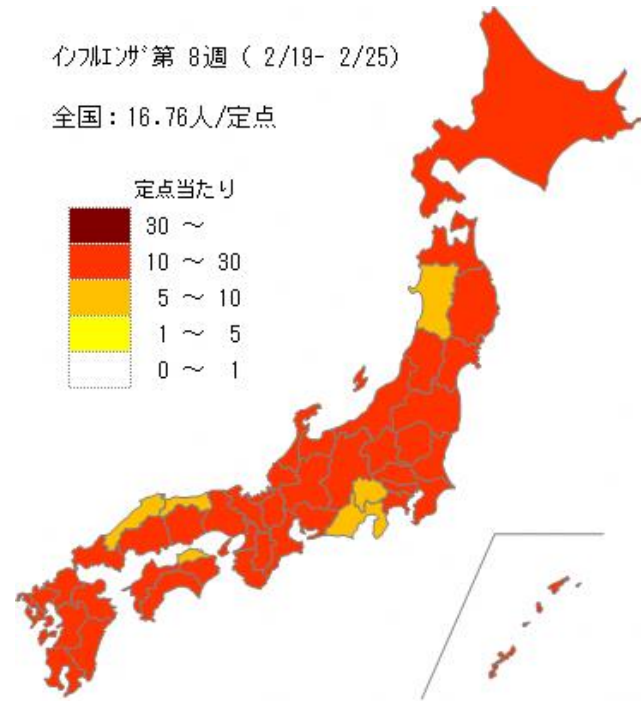
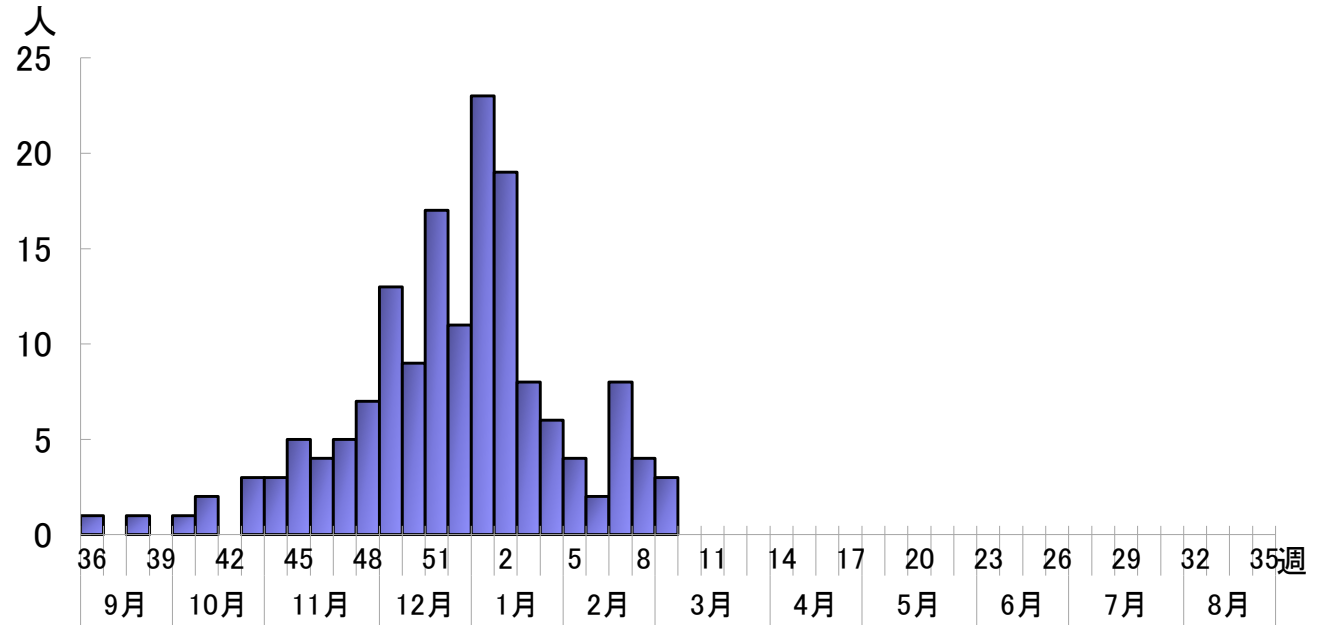


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第9週)



- 全国では第8週に16.76人/定点となり、第7週(20.65)から減少した。都道府県別(図5)では、41都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第9週に3例の報告(10歳未満:2例、60歳代:1例)があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は第3週以降概ね横ばいである。また、B型の検出割合が今週74.7%となり、先週の68.0%より増加した(富山県感染症発生動向速報2024年第9週)。全国の報告数は減少しているものの高いレベルで推移しており、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。 3